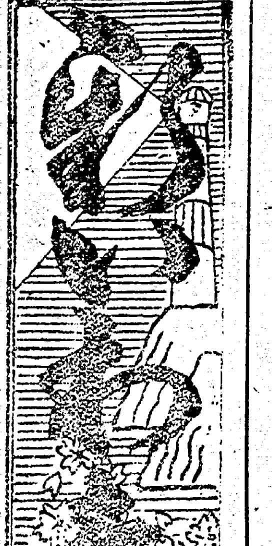
十二月二十二日夕刊



日刊但シ日曜祭日翌日休刊 一ケ月廿五錢 郵税十五錢 一部二錢
廣告料 一行四十錢 指定場所 二十錢增
發行兼編輯印刷人 中谷政吉
發行所 福島縣平市大町二三 新いわき新聞社

石城郡養兎の共同
處理總額七千余圓
最高一圓五十三錢の成績

石城郡農會が斡旋したる郡内養兎の各町村共同販賣は大体終了を告げて近く兎皮の軍部買上げ（福島市に於ける）に出荷の筈であるが前記各町村の共同處理は大浦村の四百頭を最高として磐崎、大野兩村がこれに次ぎ最低四、五十頭まで殆んど全町村の出兎總數約五千頭に達し一頭の最高一圓五十三錢、最低体重六百匁以上とされた其の程度のものでも一圓三十錢餘に當る好成績であつたので右共同處理總額七千餘圓に達したと

平市會は
廿六日に延期

平市掉尾の市會は來る廿四日招集の筈を縣會開會中である市會議長の野崎縣議その他の都合から二十六日午前十時に延期されたが提出件目は鎌田町岡田牛乳店脇の暗渠構築費百圓を區長草野七五三之助氏の名で寄附される採納、豫算の追加更正、區長（第六區、第二十五區）の推薦、市公會堂の電燈料契約並に電話架設の件その他地下採堀諸問答申等であると

市公會堂に
電話架設
職紹所の新築で

平市公會堂に電話の設けなきことは一般から其の不便をこぼされてゐたが市役所廳舍内にある職業紹介所が新築移轉（明年一月末までに）されるので同所に使用されてゐる五六二番及び社會課兵事課にも增設を決した三個の電話の中一個を公會堂に架設することを來る二十六日の市會に於て附議されると

上陸の各地を荒す
回航船漁夫の盜み
遂々平署に檢擧さる

千葉縣銚子市遠州屋所有漁船太陽丸の乘込み漁夫茨城縣波崎生れの前科二犯佐藤善太郎（三八）は本年二月小名濱町漁業組合長水野政次郎方の番小屋に忍び衣類三十余點及び懷中時計その他價二百圓を窃取したこと平署に發覺去る二十日同署に於ける防犯週間第一夜小名濱漁港に淀船の同船から檢擧されたが同人は各地に回航上陸の都度盜みを働き船に姿を晦ましつゝあつたもので釜石及び鹽釜その他數ヶ所を同樣手段で荒してゐるもの〻如く引續き取調中である

陣中の寄附に
勵まされて
靑年校銃器購入

石城郡川部村助役蛭田郡藏氏長男早苗少尉から同村靑年學校に銃器なきを遺憾とし陣中から同費に充てる樣百圓を送金され相次いで同村鴨豐治一等兵からも同樣の寄附金十圓を送られたことは既報の如くだがこれに勵まされた靑年校生並に靑年團では勇士の志を活かさねばならぬと右購入運動を起し靑年校の作業奉仕益金及び村内の寄附その他を合せる千二百圓で機關銃、單發銃、防毒マスク等を購入來る一月一日その披露演習を行ひ實況を寫眞にして戰地へ送ることになつた

村勇士に眞綿
高久村愛婦で

石城郡高久村の愛國婦人會では第一線にある村内出身の勇士に防寒眞綿を贈るべく製作中であつたが漸く全部をとり纏め去る二十日發送した

常識講座

コレクチヴィズムは集產主義と解される、生產機關たる土地その他を社會または國家の所有とせずとする主義であるが分配は其の勞働量によるを原則とする所が共產主義と異ふ

簡保燦然たる業績
堂々五十億圓突破（上）

國民大衆の保險である簡易保險が去る十一月十六日で遂に保險金五十億圓の線を突破してしまつた。普遍的な事業の擴充、驚異的なこの躍進唯々畏敬の他はない。事變の推移と共に我國は今や東亞の新平和體制の建設のため國家の總力を擧げてその完成に邁進しつゝある。この秋、簡易保險の保險金が堂々五十億圓に躍進し倚駸々として增加の勢ひを示してゐることは、時局柄非常に意義深いことで、今日簡易保險が五十億圓を超える尨大な保險金を擁するに至つたと云ふことは、謂ひ換へれば三千萬餘の加入者が相寄つてこの巨の準備財產を積立てたと云ふことであつて、一は國家經濟の强化のため、又一には家庭經濟の安定をはかるため眞に力强い事象であると言はねばならない。

簡易保險制度の創始されたのが大正五年の十月、それから二十二年になる、親しみの多い大衆保險として國民生活の守護神として、全國民から歡迎されて來たこの簡保の保險金の增加狀況を今十億圓飛に見ると次の通りで極めて短年月に隆々發展して來たことに今更ながら一驚せざるを得ない。

保險金額	達成年月	經過年月
十億圓	大正十四年十二月	九年三ヶ月
二十億圓	昭和五年七月	四年三ヶ月
三十億圓	昭和十年五月	四年十ヶ月
四十億圓	昭和十二年九月	二年四ヶ月
五十億圓	昭和十三年十一月	一年二ヶ月

平農倉の
俵米共販値
一俵平均十三圓

石城郡販聯昨二十一日の俵米共販は既報の如く出荷二百八十一俵外に大麥四俵に對し米穀商數名の競爭入札の結果左記の相場で取引されたが前年同期に較ぶれば一俵に付約六十錢の高値である

平倉庫一三俵（十三圓四錢）同二號糯八俵（十四圓六十錢）同三號古米一俵（不調）大野二二一俵（十三圓五錢）高久一八俵（十二圓八十九錢）同二號糯二〇俵（十四圓五十錢）平四號大麥四俵（七圓）以上

俵米ご坪刈品評

石城郡江名町農會主催の俵米品評會と稻の坪刈優良成績者に對する褒賞授與は今二十二日午後一時同町長崎分教場に於て擧行郡農會から柴田技師出張した

松田榮上等兵
母校へ陣信

平市紺屋町出身松田榮橘さんの息榮上等兵は母校の同市第一校兒童達への手紙に

北滿州は一帶に凍結して河川は全部凍り黑河なども步哨が河の眞ん中に立哨しソ聯側でも同じく眞ん中に步哨してゐるので危險この上ありません、何ものも投げ打つて嚴寒下に暖をとる暇もなく勤務に宣撫につとめてゐます、何卒皆さんも寒さに負けず体を鍛へて勉强し立派になつて下さい

と寄せられたので同校では去る十九日朝兒童一同にこれを讀みきかせた

姉弟の陣中對面

石城郡勿來町窪田の靑天目馬治氏は日露役の戰傷勇士であるが今次事變に長女きみ子さん（二九）を赤十字看護婦で戰線へ其の弟禮藏（二三）君を川部部隊付軍屬として活躍させてゐるが去る十一月二十二日朝南京へ行つたきみ子さんが同地に居る筈の實弟がどの邊かと双眼鏡をかりて見てゐると面會人と云はれた其の人が禮ちやんであつた、丸々肥つた丈夫な体を一年振りで見せてくれたので喜びの程想像下さいとの手紙があつた、留守宅でも大喜びである

銃後人の重務
報國貯蓄（完）

自分が貯蓄しない因果は自分に廻つて來て生活難に苦しみます、世界大戰後ドイツに於ては一時一片のパンを買ふのに何萬圓と云ふ代金を拂はなければならなくなつた如きよい教訓もあります、

【縣民の奮起を望む】洵に今日の貯蓄は身の爲であり又國の爲であります、皆さんが餘計な着物一枚を買へば零下三十度の酷寒にあつて敵と戰つてゐる兵隊さんがそれ丈け裸になつて慄へねばならないと云ふことになるのです、彈丸を打てないことになるのです、皆さん私達銃後に居るものは例へ裸になつても兵隊さん達に彈丸や着物や兵糧等に不自由をかけてはなりません、万一不自由を掛ける樣なことがあつたら多數の戰歿軍人の英靈や傷痍軍人に對し何と云つてお詫をしてよろしいかわからないのであります、大陸に於けるわれ〻の同胞が辛苦を凌ぎ艱難に堪へて戰つてゐることや又物資統制の爲欣んで商賣を捧げた氣の毒な方々があることを念頭に浮べてもう一度自分の日常生活を振りかへつてほしいのです、ボロになつた雜巾の一きれでも半びらの紙でも空かんの一つでも決して輕々しく取扱つてはなりません、あなたの押込の中や台所の片隅に一寸した金屬でもボロでも何んでもいらない物があつたら出して屑屋に賣つて下さい、一寸した見榮から年末年始の贈答等する人があつたらこの際止めて下さい、そして貯蓄をして己れの財產を造り乍ら國家の爲め奉公して下さい、日本國民である以上一人殘らず何れかの報國貯蓄組合に加入して下さい、この際貯蓄高を高めることの出來る方は少しでも高めて下さい

籾一升の貯蓄が
やがて百萬圓
川内村の百年計畫

雙葉郡川内村は村有林野一萬七百町步をもち村税を課さぬ裕福な村だがこの度渡邉村長は百年の大計として水田一反步當り毎年籾一升づゝを出させ賣却代金を百年据置郵便貯金を爲せば百年後に百萬圓になる銃後の貯蓄報國計畫を立て來る二十八日縣官を迎ひてこの獻穀式を擧行の筈だが珍らしい計畫だと語られてゐる

相當の老狐
琵琶玉に倒る
永戸村山中で

石城郡永戸村の合戸字入簸鈴木與吉（三五）さんが去る二十日午後二時頃同村と隣村上遠野との山境を通行中一匹の大狐が倒れてゐるのを發見して持歸り平署に屆出たので調査の結果琵琶玉と稱する餌料に爆藥を裝置せる密獵にかゝつたものと判つたが毛澤の揃つた相當の老狐で二、三十才位のものらしく語られてゐる

『今晩は』から
石で頭を毆る
全治三週間の傷害

石城郡内郷村の內町居住磐城炭礦支柱夫三浦末吉（三六）は去る十八日午前二時頃知人方の法事に招ばれて酩酊の歸途同礦グラウンド前で通りすがつた若い男二名に今晩はと言葉をかけられた挨拶を頰冠りでしたのが惡いと詰められたことから取組み合ひを始めた相手の同村宮居住炭礦坑夫牧野峯松（三三）を組伏せて路上の石を握り頭部を毆打全治三週間の傷害を負はせ昨二十一日平署に檢擧取調べ中である

高久村の農產品

石城郡高久村の農產品評會は小學校に開催、今二十二日審査明二十三日褒賞式を擧行すると

糯米一升四二錢

平米穀商組合では年末首需用の糯米値を協定際に於ける委員會決定十四キロ四十三錢五厘である四十二錢に賣ることになつた

産業方面

米の刈取期と其後の手入【下】

適期も外せば米質も悪く收量も減る

更にその後乾干をするのであるが天候の關係で不可能である場合には火力乾燥を實行する、從來火力乾燥は米質を損ずると云はれたのであるが研究の結果は其の害がなく經濟的にも引合ふことがわかつた、乾燥の程度は玄米にした場合の水分含有量が十五%程度がよろしい、

一、風水害地の注意、倒伏稻はなるべく早目に刈取るべきである、貰ひ苗地ではなるべく採種せずに農會などの斡旋によつて純正な種を用意すべきである、またこの地方では屑米が多量に出るから撰別に注意し屑米は屑米としての利用を講ずればよい、

一、調製、籾摺はゴムロールの臼がよい、たゞこの場合籾の乾燥を充分にすることゝロールとロールの間隔をあまりせばめぬ様にすればよい（その程度は摺出し歩合が七割程度あたりがよろしい）

一、撰別、精搗、無砂搗の胚芽米または七分搗き米が廣く利用されるやうになつてから玄米の粗粒の混合してゐることは困る、これは精搗の場合、從來は脫学が出來たのであるが胚芽米や七分搗きの米の精搗では籾のまゝで殘るものがあるからである、農家としてこれ等の點に注意すべきと思ふ

お醬油は……ヤマフル

醬油　味噌　たひら正宗　鰹節　食料品

（商標）

號屋　山崎合名會社

電話　營業部一〇番　本店二一七番

明治生命磐城代理店　山崎與三郎

簡易保險

保險金　50億円に躍進

◇一般印刷物も御引受致します

新いわき新聞社　印刷部

デーリーサービス

御日	品目	定價	品目	定價
月	カツレツ	三〇	チキンライス	三五
火	ポークチャップ	三〇	カツ丼　親子丼	三五　三〇
水	エビフライ	四〇	ハヤシライス	三〇
木	メンチボール	三〇	オムライス	三五
金	コロッケ　御フライ	三〇　二〇	ハムライス	三五
土	ビーフテキ	四〇	カレーライス	二五
日	ランチA　〃B　〃C	四〇　六〇　八〇	以上の一割引にて差上ます	

特にマルトモのランチは…

材料のおまかせを願つて居ります其の節々のおいしい新鮮な物を撰ため出來ますので御客様からいつも御好評を戴いて居ります

御來店御召上りの時も御來客御用付出し等飯べて御値段を御示し下さつておまかせ願へますれば季節〳〵の材料で御味快適なものを調理致上出來ますので之迄た非常に御好評で御座います

RESTAURANT MARUTOMO

平市停車場通　マルトモ食堂　電話二二三

レストラン　サロン

食事。喫茶。酒場を兼ねた。

平田町　電三五二

平田町（三丁目裏川岸通）

明雲堂眼科醫院

電話六六九番

入院應需（自炊の便あり）

根本産婦人科醫院

平市南町

根本莊次郎

根本貞雄

電話三四番

（入院隨時）

年末年始贈答品と

可愛らしい七五三祝用品

種々陳列

平四ツルヤ

電一四〇

平病院（平市元共濟病院跡　電話六四一番）

院主　院長　醫學博士　鈴木定藏

内科　小兒科　院長　鈴木定藏

内臟外科　一般外科　皮膚泌尿器科　副院長　高橋俊幸

レントゲン科　物理的療法科　部長　鈴木定藏

藥劑科　部長　吉本孝平

診療時間　毎日午前八時より午後九時まで夜間診療に從事す（急患は此の限にあらず）

債券　公債　兩替　金融

平市大工町

多田井質店

電話五九一番

諸毒下しの大妙藥

安流丸

特約　山野邊藥局　平町五丁目角

内科、小兒科　外科、花柳病科　耳鼻咽喉科　レントゲン科

平市田町

高久病院

電話五一三番

院長　醫學士　高久忠

診療科目

一、齒科一般　保存科、補綴科、繼續架工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、

一、口腔外科

一、レントゲン科

平市田町（松月堂向ヒ）

中野齒科醫院

電話五〇九番

院長　日本齒科醫學士　中野惠次

日大齒科醫學士　擔谷伍郎

補綴部主任　佐藤重義

安田系統の帝國海上

帝國海上火災保險株式會社

平代理店　平町二丁目　關内正一　電話一六番

事務取扱者　阿部助次郎